

道守認定者のつどいを開催しました

5月26日(水)に『第1回“道守”認定者のつどい』を開催いたしました。このつどいを企画した趣旨は、①道守養成講座の在り方、②道守認定後の活動、③助成終了後の将来構想などの課題を認定者の方々と共に考え、解決し、道守養成ユニットをさらに飛躍・発展させるとともに、関連機関の皆様と認定者、或いは認定者同士の繋がりをより強固・緊密にすることです。

内容としましては「総会」、「特別講演会」「懇親会」があり、総会には、道守認定者、運営協議会委員、運営協議会幹事会委員、県関係者、大学関係者、総勢56名が参加されました。

総会では、まず、センター長の松田浩教授より平成20、21年度実施概要報告、今後の計画(平成22年度以降の実施内容、中間評価など)、地域再生計画、総合評価の加点について話がありました。引き続き、他県の活動事例紹介では、岐阜県の事例として、牧野研究員により「MEの会」について、大分県の事例として、財津公明氏により「NPO 法人大分県コンクリート診断士会」について話題提供していただきました。その後、道守認定者が地区別(1グループ6名程度)に分かれ、「道守終了後の継続について」グループディスカッションを行い、各グループの代表者がディスカッションで出た意見について発表しました。

特別講演では東京大学生産技術研究所 准教授 牧野浩志先生より「交流地域づくりと道守への期待」という演題で講演が行われ、長崎県内各地のみならず県外からも総勢72名が聴講されました。

各グループから出た意見

長崎1チーム
<ul style="list-style-type: none">・道守シートは一人年間1枚以上必ず提出するようにすべき。・道守シートの作成については、道守補助員などはまだ知識が浅く難しいため専門家がサポートするような仕組みを作ったほうがよい。
長崎2チーム
<ul style="list-style-type: none">・継続のための事務局をどこに置くかについて議論すべきである。・NERCが引き継ぐことが出来ないか。・認定者が会費を払うようにすれば事務員の人件費を払うことができ、道守シートの処理などの業務を行える。・更新ポイントの申請をした場合、ポイントの確認連絡を早くしてほしい。
長崎3チーム
<ul style="list-style-type: none">・市町の職員が道守講座を受講すべき。大学から首長に依頼したほうがよい。・市町を受講が難しければ、県が市の職員を指導してほしい。・道守認定者が行政と同行して点検を行う。認定者による講習会を開催する。・認定者が道守シートを提出した場合、大学は必ず回答すべきである。
西海チーム
<ul style="list-style-type: none">・認定者同士が連絡を取り合うための地域の連絡網が必要。・橋梁等の点検を実施するのに、点検者の安全を確保するためにどの程度までを点検するのかを明示する必要がある。・現状では点検エリアが限られてしまうので、地域のバランスを考慮した更なる認定者の増員が必要。

大村、諫早チーム

- ・道守活動の多くが勤務時間外となるので難しい。
- ・道守シートの提出は最も重要な活動であるので、更新ポイントの再検討が必要。
- ・地域内で認定者同士の連携が取れるようにする必要がある。

佐世保チーム

- ・ボランティア活動を継続していくことが大切である。
- ・地域ごとに動きやすい環境（事務局、支部等）を設置し活動をする。
- ・市町への道守活動のPRが必要。
- ・今回のディスカッションに関して、事前に連絡がほしかった。

北松、五島、南松チーム

- ・地区ごとに拠点（支部）を組織し、各地域でグループとして点検を行う。そのために人数の増員が必要。
- ・現場実習が少ないため、点検作業に対する自信につながらず、レベルアップが難しい。
- ・道守に対する行政からのバックアップが必要。
- ・文科省からの助成の終了後、現有する機材を使用して、センターを建材センター、試験センター化できないか。



岐阜県の事例報告の様子



大分県の事例報告の様子



講演された牧野先生



特別講演の聴講の様子

平成 22 年度”道守”養成ユニットを開始しました

5月14日（金）に「平成22年度”道守”養成ユニット」を開始しました。今年度より、道守3名、特定道守14名、道守補（前期）12名の計29名の方が受講しております。

新しい取り組みについて紹介します。長崎県内の各地域に道守認定者を広げるため、道守補（後期）では、離島など遠隔地の開催を行います。今年度は、下五島と大村の2地区で開催します。講義（DVD講義）・実習は現地で開催し、演習は大学で実施します。申込し受け開始は、6月21日（月）からです。応募お待ちしております。



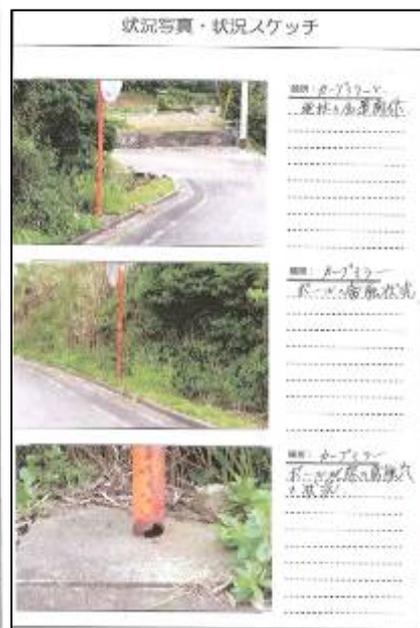
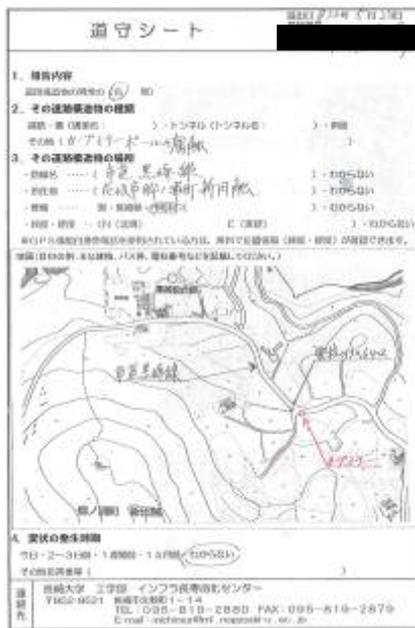
認定後の活動状況

杵岐から道守シートが届きました。提出者は、平成 21 年度に道守補助員として認定された藤本嘉隆さんです。

藤本さんは、昨年度 3 月に開催された成果報告会で H21 年度道守補助員認定者代表として、講演していただいた他、道守補コースの現場実習に参加するために、杵岐から 2 回も長崎にお越しいただきました。とてもご熱心な方で我々大学職員も頭が下がります。今後の藤本さんの活躍を期待したいと思います。

道守認定後の活動として道守シートを提出していただいているのですが前

年度は、3 件だったのに対して、今年度はすでに 8 件も届いています。道路構造物に異常があるのは、好ましくないことですが、認定者がその異常を発見したということは、とても喜ばしいことだと思います。道守シートをどしどし提出されますことをお待ちしております。



行事・イベント案内

道守養成ユニット内で行われる行事・イベントについて紹介します。

・道守補助員受講生募集中

現在、平成 22 年度道守補助員コースの受講生を以下の地域で募集を行っています。参加ご希望の方は、HP を御覧いただくか事務局までお問い合わせください。

開催地域	開催日	会場	申込締切り
雲仙	6/26(土)	雲仙市国民宿舎「望洋荘」	6/11(金)
上五島	8/1(日)	五島振興局上五島支所	7/16(金)
東彼杵	9/18(土)	東彼杵総合会館	9/3(金)
対馬	10/3(日)	美津島町文化会館	9/17(金)

・道守補(後期)受講生募集のお知らせ

道守補(後期)受講生を 6 月 21 日(月)から募集します。詳しくは HP を御覧いただくか事務局までお問い合わせください。

実施時期：平成 22 年 10 月 8 日(金)～平成 22 年 11 月 26 日(金)

実施場所：[講義・実習]

下五島：長崎県五島振興局(五島市福江町 7-1)

大 村：長崎県建設技術研究センター(大村市池田 2 丁目 1311-3)

[演習]：長崎大学 文教キャンパス(長崎市文教町 1-14)

・コンクリート点検実習・鋼構造点検実習の参加募集中

点検実習の参加者を募集します。参加対象者は以下のようになっております。

平成 20 年度：道守補、道守補助員 認定者の方

平成 21 年度：道守、特定道守、道守補、道守補助員 認定者の方

講義名	実施時期	実施場所	申込締切り
コンクリート点検実習	6月18日(金)	*未定	6月16日(水)
鋼構造点検実習	7月2日(金)	*未定	6月30日(水)

*場所は、決定次第 HP に掲載します。

道守のみちのり(4月初旬～6月初旬)

当センターの主な活動内容を紹介します。

- 10/6/5 科学・技術フェスタ in 京都 -平成 22 年度 産学官連携推進会議において、第 7 回地域再生プログラム連絡会議を実施しました。
- 10/5/26 第 1 回道守認定者のつどい総会を開催しました。
- 10/5/26 特別講演会を開催しました。
講演者：東京大学生産技術研究所 准教授 牧野浩志 先生
演題「交流地域づくりと道守への期待」
- 10/5/13 H22 年度“道守”養成ユニット「道守、特定道守、道守補（前期）コース」を開講しました。
- 10/5/12 道守長崎会議総会に参加し、屋台村に出展しました。
- 10/4/23 「上田孝行先生メモリアルシンポジウム暮らしの安全と地域再生への挑戦 -地域の道をみんなで守る-」でパネルディスカッションのパネラーとして参加しました。
- 10/4/19 第一回運営協議会開催
- 10/4/14 第一回運営協議会幹事会開催
- 10/4/12 第一回審査委員会開催

作成者の一言

初めまして、3月からセンターに勤務している樋口です。まだまだ“道守”について未熟な私ですが、少しでも多く“道守”について知り、関わっていきたくらい記事を書かせていただきました。

5月には道守認定者のつどいと“道守”養成ユニットの講座開始などのイベントがありました、今年度の道守補（後期）コースでは、離島などの遠隔地で開催する新しい試みに挑戦します。私は、その試みが成功して欲しいと思うばかりです。今後とも宜しくお願いします。

問合わせ先

長崎大学工学部 インフラ長寿命化センター 道守養成ユニット事務局

〒852-8521 長崎市文教町1番14号 TEL 095-819-2880 FAX 095-819-2879

Mail: michimori@ml.nagasaki-u.ac.jp URL: <http://ilem.eng.nagasaki-u.ac.jp/michimori>



振興調整費

※ 道守養成ユニットは文部科学省科学技術振興調整費で運営しています。